

アイテム

アートな伊丹を「観る・行く・体験」

アイテム

2014.1-3 冬号
公益財団法人 伊丹市文化振興財団
TAKE FREE



特集
伊丹アイフォニックホール

伊丹とオペラのマリアージュ

第28回
伊丹市民オペラ
定期公演直前
スペシャル座談会

photo/ 第27回伊丹市民オペラ定期公演「蝶々夫人」より

本で解決!
お悩み
相談室

結婚してもイケメンでモテ続ける
にはどうすればいいでしょう?

(いつまでもかっこよくありたい男N)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで!

かんこちゃんの オススメ本



ぶんたくんのお姉さんのかんこちゃん



「いくつになっても始められる男の料理入門塾」
亀淵昭信、土井善晴・著
(学研パブリッシング)

結婚してまでモテたいとか、イケメンでいたいとか何言ってるの? もっと家族のために努力しなさいよね。ちょっと気合い入れて、本格的な料理でも作ってあげれば喜ぶんじゃない? 最近は料理のできる男がモテるっていうし。あっ! でも間違っても家族以外の人に作ったらダメだからね!!

この本に出てくる父ちゃんは、普通の父ちゃんなんだけど…。娘が高校生ボクシングチャンピオンに怪我させられたのを機にがむしゃらに強くなろうと頑張る姿は、オレイケメンだなと思ったぞ。でもこの父ちゃんをサポートする高校生達が真のイケメン! 頑張ってる母ちゃんを惚れ直させるんだぞ!

ぶんたくんの オススメ本



「FLY, DADDY, FLY」
金城一紀・著
(講談社)



図書館大好き!
ぶんたくん

ラストホール1Fの図書館
伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム

2014年1月4日発行(季刊冬号・通巻78号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp



美術館 / THE COLLECTION 2014
(1/11(土)~3/9(日)) 5組10名様 ※締切/1月31日
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまへ
文化の郷
美術館
工芸センター
伊丹郷町館
柿園文庫



「子供と魔法」羊飼いの少女役
村上有紀子さん

「子供と魔法」子供役
喜多ゆりさん

「赤い陣羽織」おおか役
田中友輝子さん



指揮
加藤完二さん

演出
桂直久さん

特集

第28回

伊丹市民オペラ
定期公演直前
スペシャル座談会

取材・構成／平井和哉 (0.1knot)

座談会進行／西史夏
(伊丹アイフォニックホール)

伊丹とオペラのマリアージュ

本格日本オペラが
伊丹に登場！

西「『赤い陣羽織』は日本オペラの代表的な作品ですが、桂先生は初演から関わっておられるそうですね」

桂さん「昭和30年が初演だったんですが、そのころから舞台監督をさせてもらっていました。当時はいろいろ大変ですね。沖縄でも公演をしたんですが、まだアメリカの統治下だったので、九州から渡るのにパスポートがいるわけですよ。しかも小道具に使う刀を、危険だと言われて持ち込むのを止められて。どう見たって竹なのに、どうしてもダメって(笑)」

田中さん「大変な時代だったんですね」

西「そんな歴史あるオペラを、今回伊丹で上演することになったきっかけは？」

加藤さん「僕は『蝶々夫人』を伊丹で上演することがひとつの目標だったんですが、前回の定期公演で上演することができた。それで次のステップとして、さらに掘り下げて本格的な和物のオペラをしたいなと思っただんです。で、桂先生とやるなら、『赤い陣羽織』しかないな、と」

桂さん「最初聞いたときはびっくりしたけど、でもこの演目は初演時から日本を代表するスタッフに関わっているオペラですし、何より木下順二さん作の台本が素晴らしいですから。後世にきちんと残したいですね」

西「田中さんは今回、初のおかか

子供と魔法

M.ラヴェル：作曲

写真提供：徳島二期会



赤い陣羽織

大栗裕：作曲／木下順二：原作

写真提供：桂直久

役ですが、意気込みのようなものはありますか？」

田中さん「憧れていた役なので緊張はしますが、とても楽しみです。早くお稽古がしたいですね」

西「『子供と魔法』の話になりますが、喜多さんは伊丹市民オペラでは、今回初めてキャストでの出演ということになります」

喜多さん「加藤先生には学生のころからお世話になってるんです。が、いつか『子供と魔法』を伊丹でするから子供役でオーディションを受けたらええやんって言われて」

加藤さん「彼女だったから雰囲気もぴったりだと思って、目を付けてたんです(笑)」

喜多さん「自分でもハマっていると思います(笑)」



伊丹だから 成立するということ

西「伊丹市民オペラ定期公演は今
回で28回目になります。これはす
ごいことだと思っております」

加藤さん「ただ続いているとい
うだけではなく、本当に長く関わっ
ている人が多いですね。最初は
ボランティアで参加したような人
が、指導する側になっていたり。
そうやってみんながステップアッ
プしてくれているので、心強い
ですね」

村上さん「私も伊丹の市民オペラ
を見て、ハマってしまって、オペ
ラの虜になりました。今ではもっ
と勉強するために大学にも通って
います」

田中さん「オペラってどうしても

敷居が高いというか、食わず嫌
みみたいなところもありますも
ね。そんな中で浸透していつてい
るのは凄いいことだと思います」

桂さん「でも伊丹市民オペラって
初年度から大人気だったんです。
通路までぎっしり人が座ってい
たり、会場のまわりにも大行列が
できていたりね」

村上さん「伊丹は清酒発祥の地で、
昔は隆盛を極めていたんです。当
時は旦那衆が随分とお金をつかっ
て芸術を楽しんでいたそうです。
そういう名残りが今も残っている
のかもしれないね」

桂さん「あと大きいのは、行政と
文化振興財団のバックアップが非
常に強力なこと。ここまでやって
くれるところは他にはないです
よ」

加藤さん「当時の伊丹市長も随分
感動しはって、それで2回目から
は、オペラができるくらいレベ
ルのアマチュアオーケストラを作
ろうって話になった。それが伊丹
シティフィルハーモニーの始まり
です」

村上さん「オーケストラのある市
なんてほとんどないはずですし、
誇りですよ。本当に文化芸術に関
してはレベルが高いです」

桂さん「それと目に見えない部分
でも助かっていますよ。稽古する場
所だって、普通は借りようと思っ
たら大変です。けれど伊丹には存
分に稽古できる場所がいっぱいあ
る」

喜多さん「そうですね。本当に
長い日数と時間をかけてお稽古で
きますよね」

田中さん「それと本番で使うホー
ルでお稽古できるということも嬉
しいことですね」

喜多さん「そういうことも素晴
らしいと思いますが、私は伊丹市
民オペラに関わっている人たちや
場の雰囲気がすごく好きなんで
す。何だかとても家族的というか。
私は奈良に住んでいるので、伊丹
まで片道2時間かかるんですけど、
全然苦にならない。すごく楽
しみなんですよ」

加藤さん「いや、そこはもう引ッ
越しちゃったら？(笑)」

桂さん「舞台の仕事って信頼関係
がないと成り立たないから、そう
いった愛情って大切なんです。そ
ういう空気感も見えてほしいです」

Event information 文/桂直久

子供と魔法

このオペラは、フランスの作曲家 M.ラヴェルの作品で、初演は 1925 年 3 月、モンテカルロ歌劇場です。

子供の想像で生まれる魔法の世界を、叙情的なファンタジーとして、夢見る子供の世界を、見事に表しています。舞台は、フランス北西部のノルマンディ地方の田舎家で、前半は子供部屋、後半は月に照らされた夜の庭です。さて、どんなものが登場して遊び出すのでしょうか。

じんばおり 赤い陣羽織

このオペラは、木下順二原作・大栗裕作曲の日本オペラの代表的な作品です。初演は、昭和30年(1955年)6月11日、大阪三越劇場でした。

一幕三場もので、村に住んでいる仲の良い夫婦、おやじとおかかかいました。ところが、この村の代官がおかかか一目惚れをしますが、なかなかうまくいきません。一方、この事を知ったおやじは、腹いせに、代官の奥方を自分のものにしようとします。果たして結末はどうなることか・・・。

世界の伝統音楽・踊り

伊丹アイフォニックホール

宮ノ前1-3-30 ☎072-780-2110

第28回伊丹市民オペラ定期公演「子供と魔法」「赤い陣羽織」

3月30日(日)14:00~

料金/A席4,000円、B席3,000円(当日各500円増・全席指定)

出演/加藤完二(指揮)、桂直久(演出)、伊丹シティフィルハーモニー
管弦楽団、伊丹市民オペラ合唱団 他

会場/いたみホール(伊丹市立文化会館)大ホール



昨年の公演より。

伊丹の笑いは おれらに任さんかい！

週末よしもと 伊丹愛 爆笑ライブ 2014

文/平井和哉 (0.1knot)

2月2日は
いたみホールに集合！

今年も、伊丹を笑いの渦に巻き込んでくれるイベントが開催決定！昨年引き続き、伊丹大使を務める石田靖さんが笑いの精鋭たちを引き連れて伊丹に凱旋し、ステージいっぱいを使って楽しい時間をプレゼントしてくれる。

ガリガリガリクソンの
意気込み！

もうひとりの伊丹出身者であるガリガリガリクソンさんも気合いは十分だ。

「石田靖さんはもちろん、楽天のマークンや巨人の坂本さんも伊丹大使になってんに、なぜ僕だけ選ばれていないのかずっと疑問に思ってたので、今回の舞台で伊丹の皆さんに認めてもらって、伊丹大使になろうと思います」と言い、全力で暴れることを決意。ドンキホーテの前のラーメン屋さんで死ぬほどバイトして月に50万円くらい稼いでいたという思い出の地で(？)、どんな活躍を見せてくれるのか楽しみだ。

伊丹大使としての
石田靖の想い

「子どものころは猪名川でザリガニやフナと獲ったり、公園や土手を走り回ったり。まあとにかくよく遊んだ思い出しかないですね。でもそれが僕の原点でもありますから。子どものころと同じように、舞台でも元気に、遊んで、

伊丹市民へのメッセージ

僕が伊丹出身だということに
誇りを持ってください！



伊丹市民へのメッセージ

何事も一笑懸命で！



はしゃいでる姿を見てもらいたいですね。

伊丹のことを「前向きで、やさしい人を育む町」と言う石田さん。笑いを通じてというだけではなく、そんな石田さんが持っている誇りを、どんな表現で我々に届けられるのかも、注目したい。もちろん伊丹出身の2人だけじゃなく、他の出演者も豪華なメンバーが大集合。すでにチケットは発売中なので、早めにゲット！

昨年の公演より。



市民文化活動の拠点
いたみホール

宮ノ前1-1-3 ☎072-778-8788

週末よしもと 伊丹愛 爆笑ライブ 2014

出演/石田靖、末成由美、Mr.オクレ、水玉れっぷう隊、ハイキングウォーキング、プラスマイナス、スリムクラブ、デニス、ガリガリガリクソン

2月2日(日)。1 回目公演 / 13:00 開演、2 回目公演 / 16:30 開演

各回3,500円(当日500円増、全席指定)

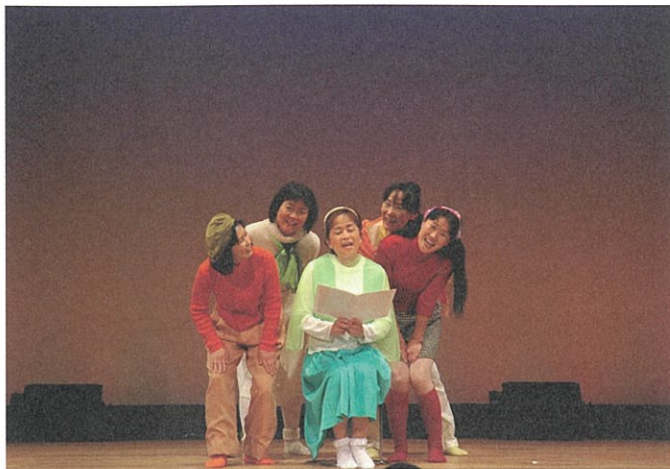
※チケット販売中

朗読劇団あめんぼ座

『大つごもり』(作・樋口一葉/演出・柳沢佐和子) ほか

2月23日(日) 開演 14:00(開場 13:30)

一般 1,200円 高校生以下・60歳以上 1,000円(当日各 200円増、全席自由)



昨年度ラスタホール公演より

ラスタで朗読三昧！ 充実の事業ラインナップ

(ラスタホール/太田裕也)

普段、朗読といえばイスに座って本を持ち、観客に向けて語るというイメージであろうか。しかし朗読劇団あめんぼ座は、そのような型にはまらない。「朗読劇」と言われるその舞台は、役者たちの力強く個性的な語りと細やかな演出により、観る者の頭の中に物語の情景をリアルに浮かび上がらせる。役者の手に本はなく、舞台上を効果的に動く。中でも特筆すべきは群読。その圧倒的な迫力に、観客は一気に劇世界に引き込まれるのだ。

恒例となったラスタホールでの「あめんぼ座朗読劇」は次回、2月にご覧いただける。そして朗読劇に浸ったあとにぜひ挑戦していただきたいのが朗読講座である。

ラスタホールでは春に「朗読ワークショップ」を、秋に「楽しい朗読」を開講しており、講師はいずれもあめんぼ座より派遣されている。前者は舞台発表までを行う実践的な内容、後者は発音やアクセントなどの基礎に重点を置いたものとなっているが、あめんぼ座公演を含め各々が関連性のある事業となっており、いずれかに参加し興味を抱いた方が継続的、かつステップアップしながら朗読に親しめる仕組みとなっている。

その結果、講座出身者有志による朗読サークルが発足し(アイテム2012春号にて紹介)、図書館・福祉施設等で幅広く活動を展開している。



ベンチ ジュエラーズ

「作」考察
文/伊丹市立工芸センター 向井智子

工芸センター2階の多目的工房では、1年間全日制でジュエリー制作を学ぶ「伊丹ジュエリーカレッジ」が開講されています。その学生たちが作業をする机が「ジュエラーズベンチ」。単なる作業台に見えますが、ジュエリー制作のための様々な工夫があるので、台の手前側にはカーブした切り込みがあり、より体がフィットしやすい構造に。スリ板という木製の用具をはめ込む金具や、引き出しも付いています。手もとの引き出しは、収納のためにあるのではなく、金、銀、プラチナなどの貴金属を切ったり削ったりする際に出る粉を集めるためのもの。金属は、溶かして成型すればまた使えるので、切り屑も貴重な材料なのです。



伊丹ジュエリーカレッジでは、バーナーやリユーターといったジュエリー制作専門の機材が設置されたジュエラーズベンチを1人1席専用使用できます。1年間制作に集中できるこの環境から、毎年多くの作品と作家たちが生まれているのです。

「IJC-COPAIN 展 -2014-」 (伊丹ジュエリーカレッジ修了生作品展)

1月11日(土)～1月19日(日)

これまでの各年代の修了生と講師の作品展

「伊丹ジュエリーカレッジ第14期生修了作品展」

3月1日(土)～3月29日(土)

3月修了予定の14期生による1年集大成の作品展

いずれも入場無料。10:00～18:00(入館は～17:30)。月休(祝日の場合、翌日休)

2014年4月開講 伊丹ジュエリーカレッジ第15期受講生募集中。

体験講習・見学のお申込みは、伊丹市立工芸センター(072-772-5557)へ。

工芸の企画展と講座など

伊丹市立工芸センター

宮ノ前 2-5-28 ☎072-772-5557

生涯学習の拠点

ラスタホール

南野 2-3-25 ☎072-781-8877

2/21(金)～23(日)

「ダンス」と「音楽」異色の共演

アイホール



photo: 杉本文 photo: 田邊真理

NHK 教育「あいのて」監修の作曲家・野村誠が老人ホームでのお年寄りとの対話をもとに作曲した音楽と、東日本大震災の避難所での取材から着想を得た砂連尾理のダンスとのコラボレーション。異色の二人による二作品連続上演にご期待ください。

AI・HALL 共演 アイホールダンスコレクション vol.72 砂連尾 野村誠 パフォーマンス公演

2/22(土)14:00、2/23(日)14:00、一般3,000円(当日500円増)、学生1,000円(前売のみ)。072-782-2000

2/23(日)

一期一会の生演奏を音楽ホールで!

伊丹アイフォニックホール



国内外で多才に活躍するピアニスト田尻洋一の人気シリーズ第60回目。ベートーヴェン究極の魂が存在する「ハンマークラヴィア」ソナタをメインにモーツァルト、ショパン、リスト作品とともにお楽しみください。

田尻洋一トーク&ピアノコンサートシリーズ in 伊丹 vol.60 「巨匠ベートーヴェン 究極の大作」

2/23(日)14:00、一般3,000円、学生(小学生以上)・シルバー(60歳以上)2,500円、子ども(4歳以上)1,500円。全席自由。072-778-8788(いたみホール)

3/8(土)・9(日)

劇作家の卵たちの瑞々しい感性に触れる!

アイホール



戯曲塾「伊丹想流私塾」で、劇作家・北村想のもと筆力を磨いてきた塾生が、関西で活躍する俳優陣の協力のもと「卒塾公演」に挑みます。お題は「三つ目の倚子」。劇作家の卵たちが生み出す、趣向を凝らした短編戯曲の連続上演にご期待ください。

伊丹想流私塾第18期生公演「三つ目の倚子」

3/8(土)19:00、9(日)14:00、1,200円(当日300円増)。072-782-2000

プレビュー

※イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各施設にお問い合わせください。

3/15(土)～30(日)

伊丹市ゆかりの芸術家による展覧会

美術館



伊丹市にゆかりのあるさまざまなジャンルの芸術家により結成された「伊丹市芸術家協会」。今年も絵画、彫刻、工芸、書、写真など、会員による作品展を開催致します。バラエティ豊かな作品をぜひお楽しみください。

【平成25年度 伊丹市芸術家協会展】

3/15(土)～30(日)、10:00～18:00(入館は17:30まで)。入場無料。072-772-7447

3/20(木)

出演者との距離が近い! 和室での落語会

いたみホール



桂塩鯛 桂歌之助 桂宗助

落ち着いた和室を会場に、間近で落語の醍醐味を味わえる公演です。出演は桂塩鯛、桂宗助、桂歌之助、桂吉の丞、桂小鯛。どうぞお楽しみに!! ※座布団席の他、椅子席もごあります。

【桂米朝一門 いたみ寄席～座敷で楽しむ、生落語～】

3/20(木)。18:30、1,800円(当日200円増)。072-778-8788

4/7(月)

至福の響き～オカリナ合奏の世界

伊丹アイフォニックホール



大小13種のオカリナを使い、古今東西さまざまな音楽を演奏するスイートポテトオカリナ合奏団8名が、クラシックからジャズ、映画音楽までうっとりする天上の音色、重なり合うハーモニーでお届けします。

【スイートポテト オカリナ合奏団】

4/7(月)19:00、一般2,500円、学生2,000円(当日500円増、全席指定)。072-780-2110

1/21(火)発売開始!

1/11(土)～1/19(日)

「創ってみたい」がカタチになりました!

工芸センター



工芸センターに集う人々の中には、創作の達人がいっぱい! 経験豊富なベテランにならないと良い作品が出来上がらないと思うなかれ。初心者だって素敵な作品が作れるのです! そんな活気ある活動の成果を集めた作品展。同時に、講座講師の作品も展示します。お楽しみに!

伊丹市立工芸センター 講座作品展「講座の仲間たち」

1/11(土)～1/19(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。月休(祝日の場合、翌日休)無料。072-772-5557

1/11(土)～3/9(日)

知的好奇心を刺激するコレクション第2弾!

美術館



オン・ド・ドレー
1950-52年
ジャン・コクトー

知的好奇心を刺激する2つのテーマで企画するコレクション展の第2弾。Room1では「凸凹(デコボコ)」による様々な表現作品を、Room2ではスペインの巨匠ゴヤによる4大版画集の一つ《戦争の惨禍》全80点を一堂に紹介。

THE COLLECTION 2014

Room1:凸凹 / Room2:戦争の惨禍 ゴヤによる80点の銅版画集

1/11(土)～3/9(日)、10:00～18:00(入館は17:30まで)。一般300円、大生200円、中小生100円。072-772-7447

1/22(水)～3/31(月)

カメムシだらけにしたるかー!

伊丹市昆虫館



くさい!不快!害虫!と嫌われるカメムシ。でも、あなたの知るカメムシはほんの一部。美しいカメムシ、子育てをするカメムシ、いい匂いのするカメムシ、カメムシの魅力を紹介します。2013年初夏にジュンク堂池袋本店で大好評を博した同名展示もリバイバル!

企画展「あなたの知らないカメムシの世界」

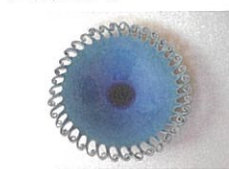
1/22(水)～3/31(月)。9:30～16:30(入館は16:00まで)。火休(祝日の場合、翌日休)大人400円、中高生200円、3歳～小学生100円。072-785-3582

アイテムおすすめのイベント

1/25(土)～2/23(日)

色んな“うつわ”をお楽しみあれ!

工芸センター



東北在住・出身作家の、陶芸・漆芸・金工作品を紹介する展覧会。震災を乗り越え、東北で活動を続ける気鋭の作家14名による“うつわ”を紹介。東北地方の工芸の「現在」を切り取ることで、「未来」が展望できるような展覧会になればと考えております。

【東北のうつわ展 一陶・漆・金属一】

1/25(土)～2/23(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。月休(祝日の場合、翌日休)無料。072-772-5557

2/15(土)

魂のフラメンコ、5年ぶりに登場!

伊丹アイフォニックホール



歌、踊り、ギターの3要素からなる芸術性の高い舞台が人々を魅了しつづけるフラメンコ。今回は、鬼オミゲル・アンヘル率いる舞踊団が5年ぶりに伊丹アイフォニックホールに登場。情熱の瞬間をお見逃しなく!

**aiphonic 地球音楽プログラム
【アンダルシア 情熱の瞬間】**

2/15(土)15:00。一般3,500円、学生2,500円(当日500円増、全席指定)。072-780-2110

2/8(土)

ライブでしか味わえない魅力を存分に!

いたみホール



名曲「シクラメンのかほり」「霧の摩周湖」「君は薔薇より美しい」など数々のヒット曲を圧倒的な歌唱力で歌い上げる布施明のステージをご堪能下さい!
※曲目は変更する場合がございます

**【布施明ウィンターツアー 2013・2014
～夢でもいいから～】**

2/8(土)17:30、5,800円(全席指定)。072-778-8788